



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省  
秋田労働局

**Press Release**

報道関係者 各位

平成25年12月11日

【照会先】

秋田労働局 労働基準部

監督課長 斎藤 文彦

監察監督官 町田 良則

電話 018-862-6682

## 建設業における労働災害防止対策徹底の要請

秋田労働局（局長 小林泰樹）は、11月に発生した土砂崩壊の労働災害など甚大な災害が発生しており、前年より死亡労働災害が大幅に増加している状況にあることや、これからの時期、厳しい寒さの下での路面等の凍結や短い日照時間等、屋外作業での条件悪化に加え、年末年始の慌しさ等により労働災害が発生し易く、より一層の安全確保対策の徹底が求められていることなどから、発注者、関係団体及び事業主に対し文書で労働災害防止対策の徹底を要請した。

記

### 1 労働災害防止徹底のための要請

#### (1) 国、県及び市町村の発注者に対する要請

発注者として労働安全対策の徹底を周知すること。

緊急パトロールを実施するなどによって現場の安全点検を行うこと。

#### (2) 建設業労働災害防止協会秋田県支部長、林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部長及び県内建設業協会等に対する要請

- ・ 会員に対し、別添リーフレット内容等を周知すること。

#### (3) 建設業の事業主に対する要請(755社)

- ・ 別添のリーフレットを各現場に配置し災害防止のための教育を実施すること。

### 2 その他

県内の各労働基準監督署では、12月(12/16~12/20)に年末特別監督を実施し、建設現場の安全対策の徹底について指導することとしている。

# 労働災害防止対策の推進について

## 秋田労働局

### ～正しい知識で安全確認。今年の冬もゼロ災害～

#### 1 凍結路面などでの転倒

危険な場所（駐車場、出入口の段差等）を周知、融雪剤などの予防

- ◆正しく靴を選び、滑りを意識して歩く、両手で荷物を抱えた歩行は危険
- ◆気象状況に注意（暖気後の冷込み等）

#### 2 除雪機械との接触・巻き込まれ

作業場所には関係者以外の立入りを禁止、又は誘導員の配置

- ◆回転部分等の点検はエンジンを停止
- ◆防寒衣類による重機の誤操作に注意

#### 3 雪下ろし作業での転落・墜落

屋根の構造、材質を把握し、踏み抜きの危険性を点検

- ◆安全帯の使用（親綱の設置）、保護帽は必ず着用
- ◆移動はしごの滑り止め、転位の防止

#### 4 雪捨場での作業中の災害

ダンプトラック等との接触に注意、関係者以外の立入禁止、又は誘導員を配置

- ◆気象状況等に適した運行経路、作業計画
- ◆雪融けによる路肩崩壊の危険を事前点検する、安易に進入しない

#### 5 山間道路や林業現場の雪崩

作業日ごとに気象状況を確認し、大雪や気温上昇等の変化に注意

- ◆作業開始前に雪崩の危険について調査し、積雪面を十分点検
- ◆危険の兆候があれば作業中止、危険個所には立入禁止措置を徹底

#### 6 雪道でのスリップ交通事故

冬用タイヤの摩耗を点検、早めの装着

- ◆無理のない走行計画で運行、速度は控えめ、車間距離の確保、急ハンドル、急ブレーキは行わない
- ◆社有車の運転者への交通安全教育、健康状態の確認

#### 7 建築物の倒壊、落雪

建物の構造、強度等を把握し、雪下ろしをする積雪量の目安を定める

- ◆落雪の危険個所には囲いや標識をし、立入を禁止
- ◆早めの雪下ろしに努める

#### 8 屋内、コンクリート養生でのCO中毒

自然換気が悪い場所では、内燃機関や練炭コンロを極力使用しない

- ◆やむを得ず使用する場合は、関係者への周知・教育・立入禁止の表示を徹底
- ◆使用後の内部に立入る場合は、十分な換気とCO濃度の測定

工事の輻輳化等によって労働災害が多発する傾向にあります。このため、経営トップをはじめ関係者は、安全衛生水準の一層の向上を目指し、店社と作業所との緊密な連携のもとに効果的な安全衛生管理活動を実施してください。

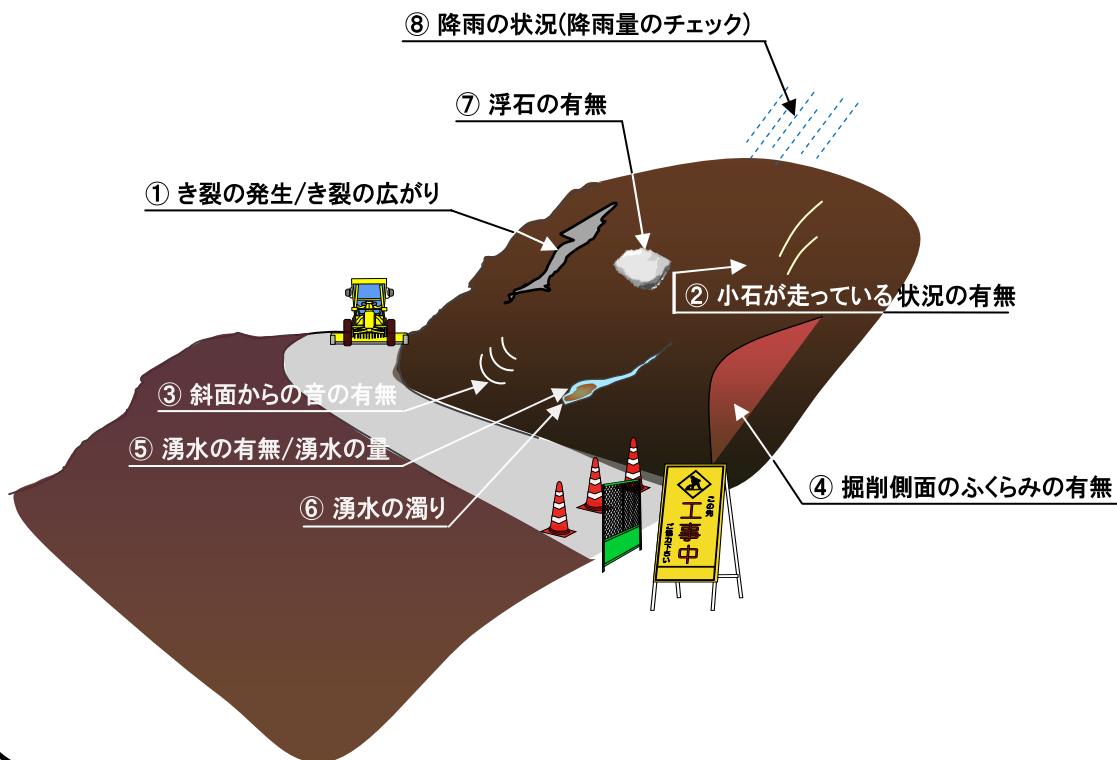
## 9 土砂崩壊防止

- ◆ 工事施工前の調査の徹底
- ◆ 工事施工後、その日の作業の開始前の点検の実施(下記)

### 土砂崩壊防止の日常点検内容の例

点検項目	崩壊前兆等
① き裂の有無(頂部・斜面等)	特に斜面のき裂の有無を確認。既存のき裂は広がり詳しく調べる。(日頃の記録が必要)
② 斜面を小石がパラパラと走っていることの有無	小石が走る場合は、崩壊の可能性が高まっている。作業を中止するなど対応を図る。
③ 斜面からの異音の有無	雨などで地下水が上昇すると斜面が移動し始める時の音の有無をチェックする。
④ 掘削面等のはらみ(膨らみ)の有無	掘削面等の膨らみの有無をチェックする。地面が緩んだために膨らみが起きる。
⑤ 湧水の急激な上昇や減少の有無	湧水が多くなり地下水の新たな道ができる、大量の水が出て隙間が広まった場合に起きる。
⑥ 湧水の色が濁るなどの変化の有無	
⑦ 浮石の有無	浮石や転石などのある個所は、風化など地盤が弱など不安定のため、変化をチェックする。
⑧ 大雨などの有無	雨が多い時は斜面では、水分を含んだ土砂が限界を超えると一気に崩壊する。

- ◆ 点検の結果、崩壊のおそれがあると判断された場合の作業中止判断基準を定める
- ◆ 作業中において、気象等(大雨・地震など)に変化がある時、作業開始前の点検と同様の点検の実施



冬期間は、厳しい寒さの下での路面の凍結や短い日照時間等、屋外作業での条件悪化に加え、年末年始の慌しさ等により労働災害が発生し易く、また健康管理も疎かになりがちな時期です。このため労働災害防止活動の積極的な推進をお願いします。

秋田労働局労働基準部 監督課/健康安全課・各労働基準監督署

〒010-0951

秋田市山王7丁目1-3

TEL 018-862-6682(監督課)

TEL 018-862-6683(健康安全課)